

地域や企業と共に人を育てる

勤労観・職業観の育成につながる活動事例

「自立した一人の人間として自分らしい生き方や働き方」を選択できるようにキャリア支援をしています。

キャリアプログラムは「自分を知る」「社会を知る」という2つの視点から構成され、1年生から参加できます。

「自分を知る」では「自分は何に興味があり、将来どんな人になりたいのか。その為に大学時代にできることは何か」と自分自身を見つめていくことからスタートします。

また、「社会を知る」では社会の課題について考えるとともに「企業の社会的存在意義と役割」「業界の構成と構造」「若者就業支援」「社会人としての働き方」等をテーマにチームで話し合います。最近では、社会をみる目を養うために、企業見学会やインターシップに積極的に参加する学生が増えてきました。

さらに学部・学科では、それぞれの特性に応じたきめ細かいキャリア・就職支援を目指し、学科独自の研修や卒業生との交流会、内定者発表会を実施するなど、進路選択に役立てています。

第一次産業から働くこと、やりがいや責任感を学ぶ

農業体験

NBU農地を耕し、野菜の栽培。地域の方に教えて頂きながら椎茸のこま打ち体験や野菜の収穫体験をしました。共に汗を流す事で、働く勤労観ややりがいを共有。大変さや喜びなど生の声を聞くことが出来ます。第一次産業の尊さを知り、全てに感謝する気持ちを仲間と共有することが出来たと思います。地域の方からもいろいろな知恵を学ぶと同時に食育やTPPの問題にも興味がわいてきたようです。



社会参画入門 <1年生全体で企業見学>

就職活動に入る直前になって「働く」ことについて考えるには時間的に無理があります。アルバイトを始める学生も多いのですが、お金を稼ぐという意識や条件だけを優先させて企業を選択すると、働き始めて一年も経過しない内に「本当にやりたいことはこれではなかった」と辞めてしまうケースも多く、社会にとっての損失になってしまいます。そこで、1年生全員を対象とした企業見学会を実施し、「仕事を通して社会に貢献する」ということを考える場を提供しています。



企業見学や就業体験を終えた学生の気づき ※1年生のレポートより1部抜粋

工学部

- 自分がやりたい仕事や夢を見つけてそれに就職できれば本当に嬉しいだろうがほとんどの人は自分が望んでいなかった仕事をしていると思う。だがどんな仕事でも自分がやっている仕事の中でやり甲斐を探すことは大事だし一番重要なことだとバイトをしながら気付いたが、今回の見学から帰ってきてからも今もこの考えに変わりはない。
- まず、働くうえで「目的意識を持つこと」が重要。目的があることで、苦しい時でも頑張ることができ、存在意義を感じられる。このことは、大学生生活全般にいえることではないかと思う。
- 働くということは誰かの役に立つという感覚に近いのではないかと感じた。行く前は働くためには高度な能力が一番重視されるものではないかと思っていたが、一番大事なことはやる気とあたり前なことがしっかりできることだと感じた。
- 入社後は自分のやりたい仕事を任せられるとは限らない。やりたい仕事でなくても、しっかり任せられた仕事をこなしていくのがプロフェッショナルだと感じた。自分の関心や興味がある仕事、自分の興味のない仕事でも任せられた仕事はしっかりと責任を持ち、遂行していくことが大切だ。

経営経済学部

- 働くための意味は自分の生活のためだと思う。だけど、働くからには、自分のためじゃなく、会社のためや、他の人のために働きたい。仕事には楽はないとあらためて思った。
- お金をかせぐために働くという目的も少しはあると思うけれど、お客様を第一に考えて働いていると思い、今まで自分が考えていた、働くことの意義を今回の実習でくつがえされた。
- 働くときは与えられたことをやるという受け身な姿勢でなく、積極的にやることを探す姿勢でないといけないことが分かった。
- 自分は、働くということに対して自分のために働くと考えていた。けれど、自分のためであるが、働くというのは誰かのためでもある。働く意識ややりがいを見つけるためには、まずその仕事を好きにならないといけないと思う。嫌々しても何も変わらない。まず、自分のやりたい事を見つける。見つけようとしないと見つからない。
- どんな業種でも手を抜くと相手やお客様に気づかれてしまう。どれだけ熱意が相手に伝わるかが大事。自分自身が納得のいく成果が得られた時もやりがいを感じる。お金をかせぐのも仕事だが、これをこうしたいという想いで最後までやりとげられる瞬間が一番のやりがい。

産学連携講座 研究ゼミナール(情報メディア学科)

新聞やテレビでは、時間制限や文字数に限度がある為、地域にとって重要な歴史ある行事や祭り等、主催者や参加者の想い、会場の雰囲気十分に伝わらない場合があります。情報メディア学科の学生が、撮影・編集・BGM・取材記事を担当し、大分合同新聞に映像作品として提供し、ホームページ上で発信しています。学生の教育上、適しているかを教員が判断し、行政や企業との連携で啓発ビデオやCM等も制作しています。次のステップに活かせるよう、講評会を開催。プロのカメラマンや編集担当者からもアドバイスを受けています。



学外インターンシップ

インターンシップとは、学生が一定期間、企業や行政等で研修生としての就業体験を行える制度で、就職活動本番でのミスマッチを防ぎ、ビジネスの仕組みや実態を垣間見ることにより、将来のキャリアプランに役立ててもらおうというものです。無報酬が原則です。また現在は、インターンシップを軸とした選考に切り替わっている企業もあります。進路開発センターでは、学業に支障をきたさないような時期や期間、内容、期間中の保険手続き等も先方と打ち合わせ、事前指導を行っています。

企業

《求めているもの》

- ①企業認知の拡大
- ②意識の高い学生との接点づくり
- ③社会貢献
- ④職業観形成

【インターンシップの実施目的】

学生

《学べること》

- ①リーダーシップ等の資質
- ②働くことを理解する
- ③社会人マナーの習得
- ④業界研究 など



学内インターンシップ(女子学生)

企業インターンシップの事前研修として、敬語の使い方や電話の取り次ぎ方、お茶の淹れ方や出し方等、来客対応を中心に実践します。

秘書検定の内容にも通じる点が多く、秘書検定資格に挑戦する学生もいます。

希望者には、学内インターンシップとして「業界・企業研究セミナー」のサポートをしてもらいます。

※女子学生を対象に「N女プログラム」として学生の希望を聞き、美容・美文字など、女子職員と一緒に創り上げる企画もあります。



業界・企業研究セミナー

全学年対象の学内セミナーです。どのような業種があるのか、社会でどの様につながっているかの仕組みを学びます。また、企業の組織の大きさだけでなく、企業の社会的存在意義や経営理念などを直接聞くことで、利益追求だけの目標ではない「仕事のやりがい」が見えてきます。さらに、研修制度の有無など、企業の人材育成についての考え方を知る良い機会となります。

本格的に始まる就職説明会に向けて、多くの情報を得て、興味のある業界や企業を選択するきっかけにしたいと思います。

また、就職活動が本格的に始まった時には、学内で単独の企業説明会を開催しています。この説明会は、本学の学生と本学の学生を求めている企業の担当者が親密にコミュニケーションを取れる出会いの場となっています。



産学協働講座「経営分析の実際」

大分県に実在する企業の経営分析をテーマに、企業が課題としている解決策を提案します。

この授業は、「地域創生人の育成」を目標に、本学と連携している金融機関、企業の3社がそれぞれの得意分野を生かし、協働でつくる授業です。これまで外食産業や小売業(D I Y)など、全国に店舗事業を展開している企業を取り上げましたが、毎年、取り上げる企業は異なります。株式市場で公開されている数値データをもとに分析し、様々な観点から経営を考えます。組織論、簿記、S W O T分析等学んだことを生かし、さらに事業展開の為の投資という観点から金融機関の指導を取り入れながら、チームで、企業から提示された課題解決策に取り組みます。最終日にはプレゼンテーションを行います。

社会人からは、指導を通して、仕事内容や職業観を感じられる良い機会であり、受講者にとって満足度の高い授業になっています。

受講後のアンケートでは、学生から次のような感想がありました。

「根拠のある資料を用いて発表することが求められるこの講義では、チームで調査したり、意見を出し合ったること機会が多く、授業外学習時間が増えました。また、プレゼン資料づくりの過程において、自分自身の成長を実感しました。」

「普段は関わる事のない企業の方から、現場の生の声を聞いたり、アドバイスをいただくことができ、大変貴重な体験ができました。また、実践型講義ならではの学生が主として動く点に良さを感じている。」

公務員試験対策講座

昨今、公務員を目指す学生が増えています。公務員専門学校と提携し、2・3年生を対象に学内で有料講座を開講しています。公務員試験は、筆記試験と体力試験、面接で評価され、この有料講座では、筆記試験と面接の対策を学びます。また、公務員の試験対策だけでなく、企業の一般試験対策として受講する学生もいます。

その他にも、1年生対象の自習教室として『公務員・就職試験対策D V D講座』を放映しています。

※公務員試験対策講座のご案内は、5月頃各ご家庭に送付する予定です。



公務員有料講座の様子

公務員試験対策講座 受講生コメント



内定先：大分市役所(建築)
学 科：建築学科
氏 名：K Kさん

私にとってこの公務員試験対策講座は第一希望であった大分市役所に内定を獲得する上で、なくてはならない講座でした。公務員試験で出題される教養分野では、講座で出題された問題や無料の公務員公開模擬試験でわからない問題も丁寧に理解できるまで講師の方が教えてくれました。また、一番心配していた

面接試験の対策でもアドバイスや指導を熱心してくれました。今考えるとこの講座を受講しなかった場合、家でなかなか勉強をせずに公務員の内定は獲得できなかつたかもしれません。長期の講座にはなりませんが、この講座を受講して良かったです。